

ヴェネツィアの獅子 (出典: フリー百科事典「ウィキペディア (Wikipedia)」)

**ヴェネツィアの獅子** (イタリア語: Leone di Venezia) は、イタリアの都市ヴェネツィアの象徴である「**有翼の獅子** (翼を持ったライオン)」のこと。9世紀、ヴェネツィア商人はアレクサンドリアにあった**聖マルコ**の聖遺物をヴェネツィアに持ち帰った。それ以来、**ヴェネツィアの守護聖人は聖マルコ**とされ、**聖マルコ**を表す「**有翼の獅子**」もまたヴェネツィアを象徴するものとされるようになった。



12世紀頃に、ヴェネツィアのサン・マルコ広場にある円柱上に聖マルコを表す有翼の獅子像が設置された。以来、ヴェネツィアの獅子といえはこの像のことを指すことが一般的である。

## 概要

サン・マルコ広場に立っている聖マルコと聖テオドーロの円柱の片側 (東側) の上に「**有翼の獅子像**」が**設置されたのは、セバスティアーノ・ツィアニ**がヴェネツィアのドージェ (元首) を務めていた**1172年から1177年の間か、もしくは1268年の事**だとされている。この「有翼の獅子像」は**紀元前300年頃にはキリキア地方のタルススにおいて神の像として作られたもの**であり、ヴェネツィアにおいては同市の守護聖人である聖マルコを象徴するサン・マルコの獅子と位置付けられた。この遙か昔より修復を繰り返された有翼の獅子のブロンズ像は、現在はドゥカーレ宮殿内に保管され、円柱の上に設置されているものはそのコピーである。